

御所湖隨想

H24年9月 No.4 5

暑い秋

9月も中旬というのに最高気温が30 前後になっています。気象予報であと一週間すれば涼しくなるということでしたが、何度も裏切られ...

また、降雨も少なく、仮に降ったところで局所的であり、地面が潤うほどではありません。御所ダム
の水位は9月4日には、172.5m(最低水位172.2
m)となり、貯水率12.8%を記録しており、岩手
山でも8合目の湧水「御成(おなり)清水」が8



月下旬に枯れるほどでしたが、9月8日に復活しました。右上の写真は9/4に安庭橋から湖面の様子を撮ったものですが、流木が幾つも横たわっています。下の写真は同じく安庭



橋からですが、湖底に沈んでいた道路跡が見えます。他にも湧水により大小の池が出現し、そこにはサギの姿が見られましたが、今はあまり見かけなくなりました。獲物はもういなくなった？

また、以前と違って、エゾミソハギの群落も見られず、代わってヤナギなどの低木が繁茂しつつあります。自然の成り行きと言ってしまうまでですが、ちょっと残念！

今年はブナの実も不作で、熊さんが里に下りてきています。御所湖ではスズメバチの巣を例年になく多く見かけています。この時期は数日間でもかなり大きな巣になりますので、見かけましたら管理事務所に一報ください。下の写真は、コブシの木と四阿(あずまや)に造られたものです。近づいたからといって、すぐに人に危害を加えるということではないのですが、ハチを手で払ったり、あわてて走り出さないで下さい。動きを止め、姿勢を低くして、静かに巣から離れてください。なお、刺されたら念のため病院へ行って下さい。暑さが続いているためまだまだ活動が活発ですので、くれぐれも用心してね！

